

報告事項1：令和元年度事業報告の件

令和元年度事業報告 要 旨

事業年度活動テーマ『 **THINK OUT OF THE BOX** 』（シンク アウト オブ ザ ボックス）

～ 発想を変えれば、未来が変わる ～

はじめに

元号が「令和」に変わり、初年度は活動テーマ「THINK OUT OF THE BOX～発想を変えれば、未来が変わる～」を掲げ、平成24年4月1日に公益法人移行以来、会員、役員が一丸となり、本会の定款「本会は、社会保障を補完し、相互扶助の精神に基づいた公益的役割を担う生命保険の知識の向上と一般消費者の利益保護を図り、国民生活を守るため、公正適正な業務の運営を行い、生命保険事業の健全な発展に寄与するとともに広く社会に貢献するための活動を行うことを目的とする」を基本に、忠実な活動を展開してまいりました。

そして、令和元年は、より発展を図るべく既存の考え方や常識・固定観念などにとらわれず、斬新な発想を求めて自己改革を目指すという事業方針に添い、自主性を発揮した素晴らしい運営を実現した。特記する点は、次の通りである。

◆年次統一セミナー（通称／年次大会）、各地方協会セミナー

長野年次統一セミナーは約7,000名が参加し、内1,500名が一般消費者で、また、福山協会で行ったセミナーでは、参加者500名の内一般消費者300名の参加を得た。公益事業としての目的を十二分に果たしたセミナーを成功させました。各地方協会のセミナーでも、一般消費者参加増加を図りました。

◆会員の15年連続増加

事業年度後半の「新型コロナウイルス」の影響で、目標とした会員40,000名には達しなかったが、15年連続増加の偉業を達成した。

◆「JAIFA学習帖」の活用定着

全国の会員が同一にITを活用し、保険についての知識や情報を手軽に習得し知識のレベルアップを図った。全会員登録率は約20%で、福山協会の登録率は52%と高くバラツキはあるものの定着化を進めた。

◆愛のドリーム募金1月31日生命保険の日“全国一斉贈呈式”の実施

平成7年よりスタートした「愛のドリーム募金」の更なる拡充と活動の周知をはかるため、特定日に全国54の地方協会が、全都道府県の社会福祉協議会を通じて「未来ある子どもたち」のための一斉贈呈式を挙行了。初の実施にも関わらず、社会への活動徹底と相互扶助・助け合いの心をもった絆をより一層高めることができた。

◆JAIFA紹介パンフレットのリニューアル

JAIFA組織をより広く一般に理解してもらい、会員の増強を図るために親しみやすいイラストを導入した「Make a future」（私たちとともに）に刷新した。

◆各地の突発的災害への迅速支援

「令和元年8月の前線に伴う大雨」や「台風19号」によって各地が猛烈な暴風雨に見舞われ、大規模な浸水被害や停電と断水による日常生活の寸断が occurred。各地方協会のハートフル・コーディネーター、地方協会長と本部ハートフルファンデーション委員会の連携対応で全国被災地に迅速な支援を行った。

◆IT化の進行に伴い、IT公益推進委員会設置による組織改革

営業活動、学習帖の活用にスマートホンやタブレットの利用が日常化しており、今後ITの高度化が組織、会員の成長にかかせないものとなっている。

こうした状況を鑑み、組織改革実施によりIT公益推進委員会を設置し、時代の変化に明確に対応した組織とした。

しかし、事業年度後半に「新型コロナウイルス」が中国武漢で発症し日本にも感染し、今や世界規模で拡散しており、内閣府から公益法人に対して諸会議や事業の中止、延期または規模の縮小の対応をとるよう要請があり、このため計画をしていた静岡年次統一セミナーの中止・延期を決断致しました。今もこの「新型コロナウイルス」の終息が見えない厳しい状況にあります。この人類最大の敵に立ち向かうには、世界の一致団結したグローバルな連帯の拡大が叫ばれています。そして「他者への思いやり」とは平易な言葉だが、この心を真に理解し深化させ得るのがJAIFAの組織であります。生命保険業界の垣根を越えて活動する組織JAIFAの使命を再度確認し、少子高齢化、IT社会などの時代の変化に柔軟に対応した行動力で、新たな事業年度に臨んでいく。

令和元年公益社団法人として下記事業を中心として行ってきたことを報告する。

■「公益社団法人」としての役割と使命（教育啓発・情報提供活動事業（公益目的事業1））

公益社団法人 生命保険ファイナンシャルアドバイザー協会（JAIFA）は、社会保障を補完し、相互扶助の精神に基づいた公益的役割を担う生命保険の知識の向上と一般消費者の利益保護を図り、国民生活を守るため、公正適正な業務の運営を行い、生命保険事業の健全な発展に寄与するとともに広く社会に貢献するための活動を行うことを目的とする。

目的達成のための事業は次の通りとしている。

- （1）消費者に対する生きがいや生活設計の支援と生命保険に関する教育啓発・情報提供活動
- （2）地域社会に貢献するためのボランティア活動やエコ活動
- （3）消費者に対する生命保険知識向上のための調査及び関係機関への提言
- （4）その他本会の目的を達成するために必要な事業

これを礎に、これまでも増して、生命保険営業職員で構成する唯一の公益団体として、JAIFAの果たす役割と使命を心に刻み、生命保険の健全な発展のために一歩ずつ着実な事業運営を行っていくようにしていくことを誓う。

■一般消費者の参加による年次統一セミナー、講演会・セミナー等の実施

（教育啓発・情報提供活動事業（公益目的事業1））

消費者個々の利益保護を図り、国民生活を守るため、公益的役割を担う社会保障制度の一部を補完している国民生活に密接な生命保険を、適切に利用していただけるよう、保険の仕組みや新しい保険の正しい知識を一般の消費者の方々に啓発する活動や、消費者のライフサイクル全般にわたって情報提供活動につなげるべく講演会、研修会、セミナーなどを実施し、生命保険が自分や家族の生活を守る大切な役割を担っていることを理解していただくとともに、生命保険商品をはじめとする金融商品の正しい知識や活用を一般社会に普及させるように実施してきた。

一般消費者の参加によるセミナーや講演会開催の目的は、一般消費者の方々に安心で豊かな人生設計を実現できるよう、主に『健康増進や先端医療』『生きがいを考える』『教育・人格形成』『ライフプランの設計支援』『経済や金融などの知識向上』といった5つの分野から専門家の体験談や健康増進などのプログラムを通して生きがいを見出し、「まさかの病や死に備える必要性」「家族を含めたライフプラン知識」「高齢化の中での年金情報」など、国民のライフサイクル全般にわたる生活設計に役立てていただいた。

年次統一セミナーは、年に一度、統一テーマのもとに全国規模のセミナーを開催する目的は、(1)公益法人として不特定多数の利益実現を図るという、当協会の使命・役割を改めて新入会員を含め末端まで徹底させると同時に、(2)一般の消費者の方々に広く参加を呼び掛け、国民生活に密接な生命保険の役割を理解していただくことにある。そのための広報活動を積極的に展開している（2019年度開催「長野大会」：全体で7,000名参加）。また、同セミナーでは、加入者の体験談なども交え、来場者に啓発活動を展開している。あわせて、広く実施している「愛のドリーム募金」を代表例として、様々な形で社会貢献活動（リレー・フォー・ライフ、スペシャルオリンピックス日本など）ボランティア活動の意識向上を目的に活動している。

■公益法人団体相互の連携による『民による公益』の増進へ向けて

（教育啓発・情報提供活動事業（公益目的事業1））

J A I F Aは、公益法人団体相互の交流を通じて「民による公益事業」の拡大に応えるための活動にも着眼し実施している。

公益法人制度改革の目的は、「民間非営利部門の活動の健全な発展を促進し民による公益の増進に寄与するとともに、主務官庁の裁量権に基づく許可の不透明性等の従来の公益法人制度の問題点を解決すること。」とあり『民による公益』の増進を推進している。

J A I F Aは、自協会の活動とともに、他の公益法人組織との交流の中で、互いの組織の事業への理解や連携を通じ、民による公益事業の推進に対して、交流を通じた活動に応えられるよう推進してきた。

①公益法人団体が実施する行事への参加（人力的支援）

公益財団法人日本対がん協会	リレー・フォー・ライフ・ジャパン	全国各地の主催行事へ参加
公益財団法人スペシャルオリンピックス日本		全国各地の主催行事へ参加

② J A I F A 年次統一セミナーでの公益団体紹介広報ブースの設置（無料出展にて推奨）

社会福祉法人 しなの福祉会 ポーチ有旅の丘（障害者への社会的自立支援）

社会福祉法人 森と木 ベジタボーラ（障害者への生活や就労支援）

NPO法人 日本ホスピタル・クラウン協会（闘病中の子どもたちへの支援）

公益財団法人 ドナルド・マクドナルド・ハウス・チャリティーズ・ジャパン（病気の子どもとその家族の滞在施設支援）

公益財団法人 メイク・ア・ウィッシュ・オブ・ジャパン（難病の子どもたちの夢をかなえる活動）

③ 広報誌「Present」への寄稿

一般社団法人金融財政事情研究会「お金にまつわるエトセトラ（ファイナンシャルプラン）」 9年継続

公益財団法人生命保険文化センター「中学生作文コンクール」入賞作品の紹介 18年継続

■突発的大災害への支援（ボランティアおよびエコ活動事業（公益目的事業2））

平成24年の設立からの5年間は、ハートフルファンデーションがどのように活かされて行くのか、活動の礎にもなるよう「年度ごとの期限を定めた支援」として毎年500万円相当の寄贈も続けてきた。この実績から、「年度ごとの期限を定めた支援」に代わり「未来ある子どもたち」に焦点をあて、継続して支援をしていくことで、子どもたちが安心して治療に専念できるよう J A I F A らしい支援をしていくことを決定した。よって、平成29年度から継続して支援している下記3団体へ、令和元年度の支援先についても合計500万円の支援をさせていただいた。

継続支援実績（平成29年度に継続）

①「NPO法人 日本ホスピタル・クラウン協会」（100万円）

全国の病院を訪問して闘病中の子どもたちを笑顔にする活動をしている団体で、全国に約100名のクラウン（道化師）が活動しており、小児病棟に入院している子どもたちを、毎月約80病院に定期訪問している。病院への定期訪問の他、被災地での活動への支援をさせていただいた。

②「公益財団法人 ドナルド・マクドナルド・ハウス・チャリティーズ・ジャパン」（200万円）

病気と闘う子どもが、家から離れた病院に入院している場合、家族の負担は肉体的にも精神的にも経済的にも大きなものとなる。このような子どもの治療に付き添う家族の滞在施設が全国に12施設あるため、施設運営へ支援させていただいた。

③「公益財団法人 メイク・ア・ウィッシュ・オブ・ジャパン」（200万円）

命に関わる難病の子どもたちの夢をかなえ、生きる力や病気と闘う勇気を与え活動をしている団体である。難病の子どもたちの夢を1つでも多く叶えることができるよう支援させていただいた。

また、全国各地で突発的に大災害が発生しており、全国の地方協会に1名ずつ登録いただいているハートフル・コーディネーターと地方協会長とが被災状況等を把握し相談のうえ、支援内容について本部ハートフルファンデーション委員会と連携する体制をとっているため、被災地が必要としている物資支援や要望に対して下記の通り支援し役立てていただく事が出来た。

◆「令和元年8月の前線に伴う大雨」への支援

昨年8月に西日本を中心に台風及び前線の影響から広範囲にわたり豪雨被害が広がった。ハートフルファンデーション委員会は災害直後から、被災地域である地方協会のハートフル・コーディネーター及び地方協会長と連携を取り、災害対策本部並びに社会福祉協議会と被災状況を確認

しつつ、被災地で緊急に必要なとされている、スコップ、軍手、土のう袋、排水ポンプ、備蓄水等約40万円を支援させていただいた。

◆「台風19号」への支援

過去最強との予想通り1都12県の広範囲に及び、河川の氾濫や土砂崩れが発生した。災害発生後全地方協会長へすぐに電話連絡に加え文書発信をして緊急支援体制を整えた。被災地域のハートフル・コーディネーターと地方協会長を中心として、社会福祉協議会や避難所等と連携をとり被災地や避難所で本当に必要としているものを確認し、飲料水、土のう袋、マスク、ゴム手袋、デッキブラシ、衣類等を約230万円分支援させて頂き、更に、各地での瓦礫や土砂の片付け等のボランティアにも参加し人的支援もさせていただく事が出来た。

このような万一の大災害時に、「JAIFAらしい支援」が会員の総力をもって起動できる体制は、会費に会員一人500円の基金が加えられたことで年間約2,000万円規模の原資が積み立てられ、会員全員の総力をもって起動できる体制が整えられたことに間違いはない。改めて感謝申し上げるとともに、引き続き公益法人としての社会貢献活動として負託に応えていく。突発的災害は発生してほしくはないが公的機関の支援とは異なる視点で、被災地が必要とされている物資支援や要望に対して、スピーディに支援させて頂くことができた。

更に、「東日本大震災への支援」についても、JAIFAとして継続的支援を行うこととしていますが、近年具体的な活動が繋がっていない中、ホスピタル・クラウン協会が東日本大震災の被災地支援として8月11日～18日に開催した「テントサーカス」に支援させていただいた。

最後に、年次大会にて恒例となっている「LEDバッジを活用した支援」は、長野大会開催地域支援として長野県の「子ども達の健やかな成長のため」316万円集まり、長野県と長野市へ均等に分けて寄贈することが出来た。

ハートフルファンデーション 募金経過報告書

2020年3月31日

前年度末繰越金		60,349,540	
収入		支出	
①年会費からの収入	19,697,500	①突発的災害支援	2,626,959
令和元年度会費39,334名〔@500〕	19,667,000	令和元年8月の前線に伴う大雨への支援	390,501
令和元年度以前の会費61名〔@500〕	30,500	台風19号への支援	2,236,458
②寄付金等	1,697,145	②長野県と長野市（児童福祉への支援）	2,300,702
一般社団法人生命保険協会〔令和年度〕	1,500,000	③未来ある子どもたちへの継続支援	5,000,000
一般 4件	105,527	NPO法人 日本ホスピタル・クラウン協会	1,000,000
東海北陸ブロックからの支援金	91,618	公益財団法人 ドナルド・マクドナルド・ハウス	2,000,000
③バッジ販売	80,000	公益財団法人 メイク・ア・ウィッシュ オブ ジャパン	2,000,000
ファンデーションバッジ〔@10,000〕		④東日本大震災支援（被災地テントサーカス支援）	1,446,684
④長野年次統一セミナー募金	3,186,302	⑤バッジ制作費（長野年次統一セミナー募金用LEDバッジ）	885,600
（一口1,000円以上募金LEDバッジ）		⑥振込手数料・残高証明書発行代	1,933
合計	24,660,947	合計	12,261,878
		年度末残高	72,748,609

■社会貢献活動の充実（ボランティアおよびエコ活動事業（公益目的事業２））

社会奉仕活動事業は、J A I F Aの公益事業の重要な位置づけにあり、従来から実施している様々な社会貢献活動の充実拡大をはかり展開している。また、J A I F A地方協会の特色を活かした独自の活動を拡大させている。

当協会の社会貢献活動の原点は、平成７年から開始した「愛のドリーム募金」活動である。「一日１０円」の精神で募ったこれまでの募金総額は、２４年間で５億４,７１１万５,７９８円、福祉巡回車愛のドリーム号は４５２台、その他に、車椅子や家電製品、さらには児童支援にかかる文房具などの購入とともに全国各地へ寄贈してきた。

このように、愛のドリーム募金は、「愛のドリーム号」の贈呈に加え、未来ある子供たちのために地域での要望や実情などを受けて、同募金の贈呈対象を、将来を担う子供たちへの支援にも活動の輪を拡大して身近な生活に役立ち、子供たちが大きく育ってほしいと願っている。

これからも、地域に根差した活動として地方協会毎に現地の事情に合わせた贈呈を推進していく。

「かけがえのない命とその命を育んでいる地球環境の保護」を「タッチ エコ！」のスローガンのもと、エコの視点を持った新たな取り組みとして、次の３点について継続的に実施しており、令和２年度へ継続している。

①未使用のプリペイドカード（テレフォンカード等）の収集

携帯電話の普及と共に未使用のテレフォンカードを手元に保管している人は少なくない。これを収集しボランティア支援に活かしている。このほか切手・はがき等の支援も増えてきた。

②メガネの回収

メガネ使用者やコンタクトレンズに変えられた方などから、使用しなくなった「メガネ」を回収している。これは、目が悪くてもメガネを買うことのできない途上国を支援するボランティア団体に送り役立てて頂いている。

③タオルの回収

自宅や会社にある未使用のタオルを回収し、特別養護老人ホームなどの施設に寄贈して最後は雑巾に至るまで有効活用して頂き喜ばれている活動である。一般企業から協力も頂いている。

更に「愛のドリーム募金」の拡充と活動の周知をはかるため、令和元年度より、毎年、生命保険の日（１月３１日）に併せて「愛のドリーム募金」贈呈式を全国地方協会にて一斉に挙げていく活動を取り入れた。初回となった昨年度は、愛のドリーム募金創設２５事業年目を迎えるにあたり、「愛のドリーム募金創設２５周年記念“１月３１日生命保険の日”全国一斉贈呈式」と題し、全５４地方協会が一丸となって、「未来ある子どもたち」のために活用頂くため、各都道府県社会福祉協議会へ寄付金を贈呈し支援を行った。この活動は恒久事業として毎年継続していく。

このほか、ペットボトルキャップ、書籍等の回収を行い、地球環境の保護にも配慮した事業も今後さらに拡大させる予定である。

■公益事業としての国際協力の推進（管理部門）

J A I F Aが連携する海外協会であるN A I F A（全米生命保険ファイナンシャルアドバイザー協会）との交流をはかり、生命保険に関係する研究を重ねると共に、やがて、J A I F Aが諸外国をリ

ードし『国際的な民による公益の増進』を果たすことができる公益組織の見本となるようこれからも展開していく。2019年度の国際会議等の参加は下記の通り。

9月 N A I F A年次大会 [Performance + Purpose 2019] オランダ

■会員増強と組織の強化（管理部門）

組織強化の施策として会員間の情報交換の仕組みを強化することや、本部と会社代表とのコミュニケーションを密にしながら、会社ごとの現状を判断し、会員増加への対応を相互連携することは、J A I F Aの公益事業を津々浦々へ伝達するためには不可欠な取り組みである。

正会員の募集は、会費徴収のシステム化、口座振替による会費納入化など会員の利便化を図る目的で推進している。

日本経済や生命保険業界の環境が厳しい中で、令和元年度をもって15年連続で会員増強を実現していることは、J A I F Aの公益活動普及への成果といえる。

事業年度	会員数	増加数	増加率
平成16年	27,998名		
17年	29,019名	1,021名	3.6%
18年	29,248名	229名	0.8%
19年	30,538名	1,290名	4.2%
20年	30,576名	38名	0.1%
21年	31,598名	1,022名	3.3%
22年	31,770名	172名	0.5%
23年	31,812名	42名	0.1%
24年	32,412名	600名	1.9%
25年	33,775名	1,363名	4.2%
26年	34,044名	269名	0.8%
27年	34,890名	846名	2.4%
28年	36,449名	1,559名	4.3%
29年	38,476名	2,027名	5.3%
30年	38,876名	400名	1.2%
令和元年	39,334名	458名	1.2%
15年連続増加(11,336名増)			

J A I F Aは、生命保険営業職員を正会員としている。生保業界の環境変化の中、代理店に所属する営業職員に対してもJ A I F Aの事業活動を広報しつつ入会促進している。生命保険会社に所属する会社に比して代理店は来店窓口型も多く、一般消費者と接する機会には、J A I F A会員であることの誇りと、公益社団法人として活動していることの使命を伝えて頂くことで、消費者の方々が安心して生命保険への理解を深めいただけるように取り組む。

■広報誌「Present（プレゼント）」の充実と広報活動の拡大（管理部門）

広報誌「プレゼント」の内容を一般の消費者向けの記事を多く掲載するなどの刷新を行ってきた。今後も更に健康情報や生活に役立つ知恵などの記事を掲載していく。また、一般の方に目にしていたくよう公共機関などへの配布も推進する。

広報活動については、JAIFAの公益活動を内外にPRするため「ホームページ」や「Face book」「QRコード」などを活用し、このほかDVDやパンフレットなどのツールを活用していく。

●2019年4月号

- ・特集 アースデイ～地球環境のためにできることから始めませんか～
- ・新連載 生活習慣病の危険因子を探る 怖い危険因子 第1回 脂質異常
- ・第48回 ゼロから学ぶ税金講座 個人事業主の相続税負担軽減へ新税制
- ・第196回 ありがとう生命保険～中学生作文コンクール入賞作品より～「母と生きる」
- ・第25回 社会保険Q&A 伸びが抑えられた2019年度の年金額
- ・第85回 桐生純子の愛され力 コミュニケーション術【社会人としての最高の愛され力】周囲に相談できる素直さ
- ・第102回 心のかげはし 知識や設計のスキルを上げると同時に、お客様の悩みを共有し、お役に立つよう努力を重ねたい
- ・第97回 思わず伝えたくなる！お金にまつわるエトセトラ4月スタート！産前産後期間の国民年金保険料が免除に
- ・第19回 想いをつなぐ未来に向かって(Toward the future)！今後もJAIFAの活動を高めていきたい
- ・2019年JAIFA年次大会in長野参加者募集中！

●2019年5月号

- ・新企画 特集 水の国シリーズ 軟水？硬水？ミネラルウォーターを知ろう
- ・新コーナー ワインの基礎知識 ワインのイロハ
- ・第49回 ゼロから学ぶ税金講座 ゴルフ場利用税は高い？
- ・第197回 ありがとう生命保険～中学生作文コンクール入賞作品より～「目に見えていなくても」
- ・第26回 社会保険 Q&A 65歳以降も働き続けると……
- ・第86回 桐生純子の愛され力 コミュニケーション術【お客様の「こころのスイッチ」の入れ方①】
会話がはずむ3つのK
- ・第185回 お客様からの感謝の声 スノーボードの事故から14年。妻と生命保険のおかげで日常の幸せをかみしめています 2019JAIFA 年次大会 in 長野(特別編)
- ・第98回 思わず伝えたくなる！お金にまつわるエトセトラ iDeCo+のしくみ
- ・第20回 想いをつなぐ～JAIFA 地方協会活動レポート～夏祭りの売上金を社会福祉法人に寄付しました
- ・第18回 JAIFA VOICE～JAIFA 地方協会活動レポート～Hop Step Jump～一歩ずつ一歩ずつ埼玉 JAIFA は前に進んでいきます～

●2019年6月号

- ・特集 電波の日
- ・生活習慣病の危険因子を探る 恐ろしいがんの現状① 2人に1人ががん予備軍！?
- ・第50回 ゼロから学ぶ税金講座 小規模宅地評価減、事業用も「3年しほり」
- ・第198回 ありがとう生命保険～中学生作文コンクール入賞作品より～「“普通”の幸せ」
- ・第27回 社会保険 Q&A 「働き方改革」と教育訓練給付金
- ・第87回 桐生純子の愛され力 コミュニケーション術【お客様の「こころのスイッチ」の入れ方②】
大切なのは『こころ』の示し方
- ・第103回 心のかげはし 亡き夫が残してくれた尊い教えを胸に地域の皆様をお守りします
- ・第99回 思わず伝えたくなる！お金にまつわるエトセトラ キャッシュレス決済に慣れておこう

- ・第21回 想いをつなぐ～ブロック・地方協会からのボランティア・公益事業活動レポート～児童養護施設で暮らす子どもたちへ愛のドリーム募金活動で支援します!
- ・第19回 JAIFA VOICE～JAIFA 地方協会活動レポート～一致団結!レノファ山口FCの試合会場で募金活動などを実施しました!

●2019年7月号

- ・レポート16th 令和初開催2019JAIFA 年次大会 in長野 Blaze the Trail～自ら道を開こう～
- ・JAIFA 第49回 定時総会報告
- ・第100回 思わず伝えたくなる!お金にまつわるエトセトラ「信用スコア」で個人の信用度が見える時代に!
- ・第199回 ありがとう生命保険～中学生作文コンクール入賞作品より～「便りが無いのがいい!便り」
- ・第28回 社会保険Q&A 残業減と社会保険料
- ・第88回 桐生純子の愛され力 コミュニケーション術【お客様の「こころのスイッチ」の入れ方③】口ぐせもプラスに変える
- ・第186回 お客様からの感謝の声 父の闘病と家業を支え続けた母が脳出血で右半身不随に。家族で協力して笑顔で暮らしています
- ・第51回 ゼロから学ぶ税金講座「経営者保険」に新ルール〈前編〉
- ・第22回 想いをつなぐ～ブロック・地方協会からのボランティア・公益事業活動レポート～子どもたちと家族のきずなが深まるお手伝いを!
- ・第20回 JAIFA VOICE～JAIFA 地方協会活動レポート～会員数1,000名を目指して、一致団結!

●2019年8月号

- ・第2回 水の国シリーズ“滝”は自然のパワースポット!
- ・第2回 ワインの基礎知識「ワインマナー」これだけはマスターしよう!
- ・第52回 ゼロから学ぶ税金講座「経営者保険」に新ルール〈中編〉
- ・第200回 ありがとう生命保険～中学生作文コンクール入賞作品より～「家族の絆を繋ぐ生命保険」
- ・第29回 社会保険Q&A 公的年金を補うための有利な制度
- ・第89回 桐生純子の愛され力 コミュニケーション術【心の実りを増やすコツ】～言葉の力～
- ・第104回 心のかげはし アクシデントは万に一つでも起こる可能性があります。そのためのために生命保険があり、私たちがいます
- ・第101回 思わず伝えたくなる!お金にまつわるエトセトラ ロボット投資のメリットとデメリット!
- ・第23回 想いをつなぐ～ブロック・地方協会からのボランティア・公益事業活動レポート～スマイル・キャンサーウォークを通じて、社会貢献活動をしています!
- ・第21回 JAIFA VOICE～JAIFA 地方協会活動レポート～Winning Combination～当たり前のことを当たり前～
- ・JAIFA 社会貢献活動報告

●2019年9月号

- ・特集 防災の日
- ・生活習慣病の危険因子を探る 恐ろしいがんの現状② 進化しつづけるがん医療
- ・第53回 ゼロから学ぶ税金講座「経営者保険」に新ルール(後編)
- ・第201回 ありがとう生命保険～中学生作文コンクール入賞作品より～「隣の救世主」
- ・第30回 社会保険Q&A 年金生活者支援給付金、10月開始
- ・第90回 桐生純子の愛され力 コミュニケーション術【会話の幅を広げるひとこと】使えていますか? 基本のき

- ・第187回 お客様からの感謝の声「家族のために絶対がんは治す!」と頑張った夫。天国から子どもたちの成長を見守ってくれているでしょう
- ・第102回 思わず伝えたくなる!お金にまつわるエトセトラ ポイントも投資で増やす時代に!
- ・第24回 想いをつなぐ〜ブロック・地方協会からのボランティア・公益事業活動レポート〜アカウミガメ保護海岸にて清掃ボランティアに参加しました!
- ・第22回 JAIFA VOICE〜JAIFA 地方協会活動レポート〜ホームページやFacebook を活用し、多くの方に私たちの活動を知ってほしい

●2019年10月号

- ・第73回「生命保険の月」に寄せて
- ・特集 第3回 水の国シリーズ ただのお湯ではない“白湯”の驚きの効果!
- ・第54回 ゼロから学ぶ税金講座 もう一つの法人向け節税保険
- ・第202回 ありがとう生命保険〜中学生作文コンクール入賞作品より〜「保険と私の人生」
- ・第31回 社会保険Q&A 年金はどこまで減るのか
- ・第91回 桐生純子の愛され力 コミュニケーション術【コミュニケーション達人技】〜ピンチをチャンスに変える謝罪とは①〜
- ・第105回 心のかげはし お試しができない生命保険だからこそ、しっかり検討して契約していただきたい
- ・第103回 思わず伝えたくなる!お金にまつわるエトセトラ ふるさと納税、規制でどう変わった?
- ・第25回 想いをつなぐ〜ブロック・地方協会からのボランティア・公益事業活動レポート〜児童養護施設で毎年2回清掃活動を実施しています!
- ・第23回 JAIFA VOICE〜JAIFA 地方協会活動レポート〜これまでになかったことをチャレンジして取り入れていきたい

●2019年11月号

- ・特集 七五三の日
- ・第3回 ワインの基礎知識「ラベルの読み方」これだけはマスターしよう!
- ・第55回 ゼロから学ぶ税金講座 年末調整で控除される4つの「保険料」
- ・第203回 ありがとう生命保険〜中学生作文コンクール入賞作品より〜「身近に感じた生命保険」
- ・第32回 社会保険Q&A 失業給付と年金をフルにもらう方法
- ・第92回 桐生純子の愛され力 コミュニケーション術【コミュニケーション達人技】〜謝罪で関係性を深めるコツ②〜
- ・第188回 お客様からの感謝の声 前立腺がん治療に重粒子線治療を選びました。早期発見や情報収集の重要性をお伝えしたいです
- ・第104回 思わず伝えたくなる!お金にまつわるエトセトラ スマホ決済の「落とし穴」
- ・第26回 想いをつなぐ〜ブロック・地方協会からのボランティア・公益事業活動レポート〜子どもたちもおもわず笑顔に!動物園内の清掃ボランティア
- ・第24回 JAIFAVOICE〜JAIFA 地方協会活動レポート〜誰とでも気軽に話せる雰囲気の中でお互いに情報交換をしています!
- ・JAIFA 社会貢献活動報告

●2019年12月号

- ・特集 第4回 水の国シリーズ “温泉”を知って、もっと楽しもう!
- ・生活習慣病の危険因子を探る怖い危険因子 第2回高血圧
- ・第56回 ゼロから学ぶ税金講座「人的控除」も年末調整の対象

- ・第204回 ありがとう生命保険～中学生作文コンクール入賞作品より～「未来をつないでくれたもの」
- ・第33回 社会保険Q&A 障害年金の受給額は?
- ・第93回 桐生純子の愛され力 コミュニケーション術【コミュニケーション達人技】～謝罪の「思いと行動」を一致させるコツ③～
- ・お客様のためにあるべき姿を追求して 米国生命保険制度研修に参加して—この経験をお客様のために活かす
- ・第105回 思わず伝えたくなる!お金にまつわるエトセトラ国からもらえる「マイナポイント」とは?
- ・第27回 想いをつなぐ～ブロック・地方協会からのボランティア・公益事業活動レポート～海岸清掃活動とリレー・フォー・ライフの活動を通じ地域に貢献!
- ・第25回 JAIFA VOICE～JAIFA 地方協会活動レポート～十勝を元気にしたい!その想いを私達の活動につなげます
- ・JAIFA 社会貢献活動報告

●2020年1月号

- ・新春対談 THINK OUT OF THE BOX～発想を変えれば、未来が変わる～杉山 愛さん〈スポーツコメンテーター〉石井 清司〈JAIFA 第12代理事長〉
- ・第4回 ワインの基礎知識 これだけは知っておきたい「ブドウ品種」
- ・第205回 ありがとう生命保険～中学生作文コンクール入賞作品より～「生命保険…強く生きるための仕組み」
- ・第57回 中学生作文コンクール 入賞者表彰式
- ・生命保険各社社長より 新年のご挨拶
- ・第57回 ゼロから学ぶ税金講座 青色申告と複式簿記
- ・第34回 社会保険Q&A 医療費負担の上限
- ・第94回 桐生純子の愛され力 コミュニケーション術【簡単エクササイズ】ポジティブハートのつくり方
- ・第189回 お客様からの感謝の声 初期の精巣がん治療後、大手取引先が倒産。法人契約の三大疾病保険で会社を救えました
- ・第106回 思わず伝えたくなる!お金にまつわるエトセトラ 大幅に改正!高等学校等就学支援金制度
- ・第12回全国会長会議が開催されました
- ・第26回 JAIFA VOICE～JAIFA 地方協会活動レポート～JAIFA 会員である付加価値を高めるために
- ・「JAIFA 学習帖」充実のコンテンツ(内容)紹介

●2020年2月号

- ・特集 バレンタインデー
- ・最終回 生活習慣病の危険因子を探る 怖い危険因子 第3回高血糖
- ・第58回 ゼロから学ぶ税金講座 シングルマザーに所得控除
- ・第206回 ありがとう生命保険～中学生作文コンクール入賞作品より～「願い」
- ・第35回 社会保険Q&A 年金繰り下げという選択
- ・第95回 桐生純子の愛され力 コミュニケーション術【信頼される人のシンプルな習慣】～ボディランゲージのすすめ～
- ・第106回心のかげはし 縁ある人の人生が豊かになる「きっかけ」作りをしたい
- ・第107回 思わず伝えたくなる!お金にまつわるエトセトラ ラテマネーを減らして無駄をなくそう
- ・第27回 JAIFA VOICE～JAIFA 地方協会活動レポート～「JAIFA っていいな。生命保険っていいな。」をお伝えしたい!
- ・2020年JAIFA 年次大会 in 静岡 参加者募集開始のご案内

●2020年3月号

- ・最終回 特集 第5回 水の国シリーズ 水中ウォーキングの驚きの効果と楽しみ方
- ・最終回 第5回 ワインの基礎知識 ワインは「話題作りの宝庫」
- ・第59回 ゼロから学ぶ税金講座 2020年の所得は減税か増税か<前編>
- ・第207回 ありがとう生命保険～中学生作文コンクール入賞作品より～「外国と日本の生命保険を比べて」
- ・第36回 社会保険Q&A 育児休業期間中の収入は?
- ・第96回 桐生純子の愛され力 コミュニケーション術【信頼される人のシンプルな習慣】～脚の位置で信頼度を上げる～
- ・第190回 お客様からの感謝の声 29歳で生命保険加入。2年間で2度の入院を経験して、「転ばぬ先の杖」を実感しました
- ・第108回 思わず伝えたくなる!お金にまつわるエトセトラ NISA 見直し!非課税制度はこう変わる
- ・タオル等収集へご協力をお願い
- ・2020年 JAIFA 年次大会 in 静岡 参加者募集開始のご案内

1. 教育啓発・情報提供活動事業（公益目的事業1）

セミナー開催事業

セミナーや講演会開催の目的は、一般消費者の方々に安心して豊かな人生設計を実現できるよう、下記の5つの分野から専門家の体験談や健康増進などのプログラムを通して生きがいを見出し、「まさかの病や死に備える必要性」「家族を含めたライフプラン知識」「高齢化の中での年金情報」など、国民のライフサイクル全般にわたる生活設計に役立てていただいている。

全国9ブロック54協会が、さまざまな分野から講師をお招きして125回のセミナーを開催した。セミナーの殆どをオープンセミナーとして、会員はもちろん会員以外の主婦や学生など一般の方々にも多数ご参加いただいた。開催したセミナーの一部を下記に記載する。

1. 健康増進や先端医療のテーマ

◆開催事例

- ①小林 誠人（公立豊岡病院但馬救命救急センター センター長）
『空翔る 救命救急医が語るドクターヘリの真実』
- ②堀内 政雄（無農薬有機農園アイビィファーム 代表）
『「人生を変える・こころの健康セミナー」～ストレスから解放される自分創り～』
- ③三浦 拳（ビジネス書著者）
『「美と健康のカギは“腸”にあり」～腸活でハッピーに生きる術～』
- ④岡田 直美（ナオミクリニック 院長）
『がん生存率0%から「治ったわけ」「治せるわけ」～セカンドオピニオンで命をつなぐ～』
- ⑤福々亭 ナミ子（脳トレ漫談師）
『脳トレ漫談！笑顔でアンチエイジング』

2. 生きがいを考えるテーマ

◆開催事例

- ①毛利 公一（社会福祉法人ラーフ）
『「目線が変わると世界が変わる」～絶望をチャンスに変える心のスイッチ～』
- ②河野 景子（株式会社ル・クール 代表取締役）
『生き抜くためのふんばる力』
- ③高田 明（株式会社A and Live 代表取締役）
『夢を持ち続け日々精進』
- ④ヤセ騎士（認定ダイエットインストラクター）
『挫折を乗り越え、笑いを届ける』
- ⑤前園 真聖（元サッカー日本代表）
『サッカーから学んだ人生～チャレンジすることの素晴らしさ～』

3. 教育・人格形成テーマ

◆開催事例

- ①菱田 雅生（ライフアセットコンサルティング株式会社 代表取締役）
『記憶力やモチベーションを飛躍的にアップさせる脳の使い方』

- ②齋藤 孝（明治大学文学部教授）
『日本語力とコミュニケーション力』
- ③武藤 正幸（我武者羅應援團 総監督）
『応援される人の3つの共通点』
- ④バイマーマンジン（声楽家）
『私はなぜ学ぶのか？～アルバイトから10校の学校建設まで～』
- ⑤阿部 祐二（俳優・リポーター）
『～現役リポーターが語る～「相手の心を開くコミュニケーション術」』

4. ライフプランの設計支援テーマ

◆開催事例

- ①山本 英生（山本英生税理士事務所 税理士）
『ライフプランにかかせない「そうぞく対策の生命保険活用法」』
- ②幸坂 竜平（株式会社ナレッジ・インシュランス・サポート 代表取締役）
『人生100年時代にちなんでの資産形成・保険の活用法』
- ③潮田 英明（うしおだ健康クリニック 院長）
『老い備えの心構えはありますか？～豊かな生活のその先にあるもの～』
- ④藤原 和博（教育改革実践家）
『AI時代の戦略的生き方のすすめ～変革と成長を促す思考法』
- ⑤こころ亭 久茶（行政書士きざき法務オフィス 代表）
『落語で学ぶ 相続・遺言・後見』

5. 経済や金融などの知識向上テーマ

◆開催事例

- ①辛坊 治郎（株式会社大阪総合研究所 代表・キャスター）
『時代を読み解く～正しい判断は正しい情報から～』
- ②栗本 大介（株式会社エフピーオアシス 代表取締役）
『早めに備える公的年金と退職後の資金計画』
- ③三橋 貴明（株式会社経世論研究所 所長）
『マスコミに騙されるな！令和時代の日本のゆくえ』
- ④中山 明彦（中山税務会計事務所 税理士）
『元国税No.1 調査官の税理士が教える「知っておきたい税情報」
～生保業界の話から税務調査まで～』
- ⑤杉村 太蔵（元衆議院議員）
『どうする老後の資産？タイゾー流資産形成術のすすめ』

ブロックセミナー

<北海道ブロック>

令和元年10月11日（金）「ホテルグランドニュー王子」
市川 量一 『社会保障年金セミナー』

<関東甲信越ブロック>

令和元年12月13日（金） 「群馬県社会福祉総合センター」
天達 武史 『人に話したくなる天気のコミツ』

<東海北陸ブロック>

令和元年10月18日（金） 「インテックビルスカイホール」
惣万 佳代子 『富山型デイサービスから学ぶこと「あったか地域の大家族」』
モーリーロバートソン 『オモテナシからオトモダチへ「日本とアメリカで通用するがんばり術」』

<四国ブロック>

令和元年10月10日（木） 「鳴門市文化会館」
くすのき しげのり 『「一人ひとりがみんな大切」～あなたの一日が世界を変える～』
小西 博之 『生きている喜び 末期がんからの生還』

2. ボランティアおよびエコ活動事業（公益目的事業2）

社会貢献事業

■愛のドリーム募金■

各地方協会とも贈呈計画への取組みが行われ、高齢者を対象とした福祉巡回車「愛のドリーム号」の贈呈に加えて、地方協会の規模や贈呈先の要望により贈呈対象を児童養護施設等への慰問や支援にも広げ、地域性や計画性を考慮した活動を展開している。

また、広報誌「プレゼント」では、裏表紙に愛のドリーム号贈呈先および児童福祉施設からの感謝の声を掲載し活動報告を続けている。

令和2年3月31日現在までの総累計金額は、5億4,711万5,798円である。

■ボランティア団体主催の諸行事に参加

下記団体が取り組む諸行事活動に、お手伝いをさせていただいている気持ちをもって、人的支援として会員が積極的に参加するように取り組んでいる。

☆ガンに立ち向かう人々のために（公益財団法人日本対がん協会 リレー・フォー・ライフ）

命のリレー・ウォークでは、がんに立ち向かう日々の思いや体験を語り合い、24時間歩きながら寄付を募るイベントです。患者さん（サバイバー）たちと共に歩くことで、がんに向う勇気や生きる感動を共有します。

☆知的発達障害のある人々のために（公益社団法人スペシャルオリンピックス日本）

知的障害のある人たちに年間を通じて、さまざまなスポーツトレーニングと競技の場を提供している。スポーツを通じ社会参加を応援するために全国各地で開催される競技会等での支援をしています。

■大災害に対する緊急支援体制■

これまで、国内外の各地で発生した台風や地震などの突発的自然災害により被害を受けられた方々に対して、援助を必要とする事態が発生した場合には今後も迅速な支援を行えるよう、ハートフルファンデーションの運営体制をもって対応していく。

3. 調査・提言事業（その他の事業）

諸団体との連携・交流等事業

- ・平成31年 4月18日(木)、19日(金) 第49回MDRT日本会大会に石井理事長が出席した。
- ・令和 元年 5月28日(火) 一般社団法人生命保険協会シンポジウムに山本理事が出席した。
- ・令和 元年 6月 7日(金) 全国生命保険労働組合連合会「男女共同参画労使フォーラム」に赤池専務理事が出席した。
- ・令和 元年 6月28日(金) 第48回TLC(生保協会認定FP)会総会に石井理事長が出席した。
- ・令和 元年 8月 6日(火) アンダーライティング学院第45期生卒業式典に岡澤副理事長が出席した。
- ・令和 元年 8月21日(水) 全国生命保険労働組合連合会結成50周年記念レセプションに岡澤副理事長が出席した。
- ・令和 元年 9月 5日(木) アンダーライティング学院第46期生入学式典に林理事が出席した。
- ・令和 元年10月16日(水) 生命保険修士会・生命保険アンダーライティング学院45年記念式典に岡澤副理事長が出席した。
- ・令和 元年10月30日(水) アンダーライティング学院会計監査に佐藤理事が出席した。
- ・令和 元年11月 1日(金) 一般社団法人日本損害保険代理業協会第9回日本代協コンベンション懇親会に岡澤副理事長が出席した。
- ・令和 元年12月17日(火) アンダーライティング学院運営委員会に齋藤理事が出席した。
- ・令和 2年 1月 6日(月) 一般社団法人生命保険協会新年賀詞交歓会に金井副理事長が出席した。

国際連携事業

■NAIFA年次大会

米国NAIFA年次大会が、2019年9月11日(水)～14日(土)にオランダ「ドルフィン・ホテル」を会場にして開催された。

本年度も4日間にわたるプログラムにて、講演、分科会、ロビー活動報告などが行なわれた。NAIFAとJAIFAは、互いに抱えるさまざまな問題や課題に対し真摯に向かい合い、お客さまや一般市民に不利益な政策や法案に強く意見を述べる活動を行っている。

NAIFA役員とのミーティングでは、JAIFAが年次大会に7,000名にも及ぶ動員力とともに力強い公益活動を行っていることが評価されました。また、米国市場の動きとしては、アメリカ政府の試算を大幅に超える要介護者の増加により、介護保障ニーズが高まっており、日本と同様の課題があるとの報告が述べられた。また、スピーチに立った石井理事長は、JAIFAは『THINK OUT OF THE BOX～発想を変えれば未来が変わる』のもとに約4万人となる会員増加を経て、相互研鑽し社会貢献活動を行っている。NAIFAとの関係を強化し

てこれからも互いに頑張ろう」と述べ、ジル会長と固い握手を交わした。

このように、米国でも様々な問題点があるが、日米共に共通しているのは、営業職員がJ A I F AやN A I F Aといった組織に所属し、常にお客様のために学び、そして我々がお客様に長きにわたり接し続けることが大切な事であり、その活動には国境がありません。米国から学ぶことの価値は高く、公益法人としての役割を再認識しつつこれからも密接な連携を保っていける関係であることは意義深く、私達が米国の生命保険制度を学ぶ意味を活かしていくことが重要である。

政策・調査研究活動等事業

政党、関係団体との各種会合に出席し意見の開陳を行い、消費者が不当に不利益を被ることのないようその動向を明示し、消費者の利益を守るなど公益活動に資するよう引き続き努力を続けてきた。今後も生命保険料控除などの税制改正や銀行窓販等に対して問題意識を持ちつつ活動を推進していく。

令和元年度税制改正に関する要望項目について

令和元年7月に要望書を作成。自由民主党組織運動本部団体総局財政・金融・証券関係団体委員会へ要望書を提出したほか、10月29日に開催された同会「予算・税制等に関する政策懇談会」にて一般政策の要望を行った。今般の要望事項は下記の通り（抜粋）

《重点要望項目》

◎少子高齢化の急速な進展やライフスタイルの多様化など社会環境が変化する中、持続可能な社会保障制度の確立と国民生活の安定に資するために、国民の自助・自立のための環境を整備する観点から、生命保険料控除制度については、社会保障制度の見直しに応じて、現行制度を拡充すること―所得税法上および地方税法上の生命・介護医療・個人年金の各保険料控除の最高限度額を少なくとも5万円および3.5万円とすること、また、所得税法上の保険料控除の合計適用限度額を少なくとも15万円とすること（所得税法第76条、地方税法第34条・同法第314条の2）

《その他の要望項目》

I. 企業年金保険関係

- 公的年金制度を補完する企業年金制度（確定給付企業年金制度、厚生年金基金制度）および確定拠出年金制度等の積立金に係る特別法人税を撤廃すること
- 確定給付企業年金、厚生年金基金における過去勤務債務等に対する事業主掛金等について、早期の年金財政の健全化に資する柔軟な取扱いを可能とすること
- 企業型確定拠出年金制度における退職時の脱退一時金について支給要件を緩和すること

II. 生命保険契約関係

- 遺族の生活資金確保のため、相互扶助の原理に基づいて支払われる死亡保険金の相続税非課税限度額について、現行限度額（「法定相続人数×500万円」）に「配偶者分500万円＋未成年の被扶養法定相続人数×500万円」を加算すること

また、各政策の状況・情報取得のため諸会議等にも参加した。

- ・平成31年4月10日（水）天皇陛下御即位三十年奉祝感謝の集いに山本理事が出席した。

- ・平成31年 4月25日（木）衆議院議員岸田文雄と国政を語る会に田久保理事が出席した。
- ・令和元年 5月14日（火）「志公会と語る夕べ」に事務局が出席した。
- ・令和元年 5月15日（水）「宏池会と語る会」に事務局が出席した。
- ・令和元年 6月18日（火）自民党参議院選挙公約に関する『政策懇談会』事務局が出席した。
- ・令和元年 8月29日（木）衆議院議員岸田文雄と国政を語る会に岡澤副理事長が出席した。
- ・令和元年 10月29日（火）自由民主党「予算・税制等に関する政策懇談会」石井理事長が出席した。
- ・令和元年 11月 9日（土）天皇陛下御即位をお祝いする国民祭典に石井理事長が出席した。
- ・令和元年 12月12日（木）衆議院議員岸田文雄と国政を語る会に岡澤副理事長が出席した。
- ・令和2年 2月12日（水）自由民主党各種団体協議会懇談会に石井理事長が出席した。

○一般社団法人生命保険協会・公益財団法人生命保険文化センター等との懇談会

令和2年1月22日（水）KKRホテル東京 において、JAIFA主催による生命保険協会、生命保険文化センター、全国生命保険労働組合連合会、生命保険協会長担当4社の調査部・教育部と各種諸問題を話題としての懇談会が開催された。

4. 管理部門

組織の現状

令和元年度末の会員数は39,334名となった。前年平成30年度末会員数38,876名と比較すると458名の増加となった。また、54地方協会のうち増加地方協会は30協会であった。地方協会別会員数は、別表（56～57ページ添付）資料の通りである。

会員増加30協会

札幌・函館・旭川・岩手県・山形県・茨城県・栃木県・群馬県・新潟県・山梨県・長野県・埼玉県・富山県・岐阜県・静岡県・愛知県・滋賀県・京都府・大阪・奈良県・和歌山県・鳥取県・広島・福山・愛媛県・高知県・北九州・佐賀県・宮崎県・沖縄県

諸会議の開催

① 理事会

第1回 平成31年 4月17日（水）午後2時半～午後5時 メットライフ生命7F中会議室
議 題Ⅰ. 決議事項 第1号議案 平成30年度事業報告承認の件 第2号議案 平成30年度決算承認の件 監査報告含 第3号議案 指名理事選出の件 第4号議案 定款改正の件 第5号議案 定時総会の開催承認の件 1. 開催日時について 2. 開催場所について 3. 委任状について 4. 議事録署名人について 5. 議事 決議事項： 第1号議案 平成30年度決算承認の件 第2号議案 定款変更の件 第3号議案 理事選任の件 第4号議案 監事選任の件 報告事項： 1. 平成30年度事業報告の件 2. 平成31年度事業計画報告の件 3. 平成31年度予算報告の件 第6号議案 地方協会長の承認の件 第7号議案 規程改定の件 Ⅱ. 報告事項 1. 職務執行状況の報告について 理事長・専務理事 2. 組織の現況について 会費入金状況、行事開催報告、愛のドリーム募金 3. 年次統一セミナーの開催について 4. その他

第2回 令和元年 7月5日(金) 午後3時～午後5時 メットライフ生命大手センタービル
21F会議室

議題Ⅰ. 決議事項 1. 令和元年度事業推進について 教育委員会 企画広報委員会企画部会
企画広報委員会広報部会 社会奉仕委員会 組織強化委員会組織部会 組織強化委員会財務部
会 組織強化委員会金融業界調査部会 組織強化委員会総務部会 ハートフルファンデー
ション委員会

2. 理事会の開催予定について Ⅱ. 報告事項 1. 組織の現況について 行事開催報告、会
費入金状況、愛のドリーム募金 2. 内部監査について 3. 年次統一セミナー報告 4. そ
の他

第3回 令和元年 9月 6日(金) 午後2時～午後4時 メットライフ生命 6F 中会議室
議 題Ⅰ. 決議事項 1. 令和元年度事業推進について 教育委員会 企画広報委員会企画部
会 企画広報委員会広報部会 社会奉仕委員会 組織強化委員会組織部会 組織強化委員会財
務部会 組織強化委員会金融業界調査部会 組織強化委員会総務部会 ハートフルファンデー
ション委員会

2. 支部(地方協会) 運営規程細則改定の件 3. その他 Ⅱ. 報告事項 1. 組織の現況に
ついて行事開催報告、会費入金状況、愛のドリーム募金 2. 内部監査について 3. その他

第4回 令和元年10月25日(金) 午後1時～午後3時 メットライフ生命 6F 中会議室
議 題Ⅰ. 決議事項 1. 令和元年度事業推進について 2. 令和2年度事業計画骨子につい
て 教育委員会 企画広報委員会企画部会 企画広報委員会広報部会 社会奉仕委員会 組織
強化委員会組織部会 組織強化委員会財務部会 組織強化委員会金融業界調査部会 組織強化
委員会総務部会 ハートフルファンデーション委員会 Ⅱ. 報告事項 1. 職務執行状況の報
告について 2. 組織の現況について 行事開催報告、会費入金状況、愛のドリーム募金 3.
内部監査について 4. その他

第5回 令和2年 1月22日(水) 午後1時～午後3時半 KKRホテル東京 11階 丹頂の間
議 題Ⅰ. 決議事項 1. 令和元年度事業推進について 2. 委員会規程改定の件 3. 令和
2年度事業計画案について 教育委員会 企画広報委員会企画部会 企画広報委員会広報部会
社会奉仕委員会 組織強化委員会組織部会 組織強化委員会財務部会 組織強化委員会金融業
界調査部会 組織強化委員会総務部会 ハートフルファンデーション委員会 4. 令和2年度
予算原案について 5. 支部(地方協会) 運営規程細則改定の件 6. その他 Ⅱ. 報告事項 1.
組織の現況について 行事開催報告、会費入金状況、愛のドリーム募金 2. 内部監査について
3. その他

②委員会

教育委員会

第1回【教育委員会・編集会議】令和元年 8月30日(金) 午後1時半～午後3時半 J A I F A
本部会議室

議 事 1. 令和元年度事業進捗について 2. 令和2年度事業計画案(骨子)について
3. 令和元年度広報誌「Present」の制作について 4. その他

1. 教育事業プロジェクト 2. その他

編集会議 午後3時半～午後5時半

議 事 1. 令和元年度『Present』の誌面内容について 2. 令和2年度広報誌

『Present』の編集方針について 3. その他

第2回【教育委員会・教育事業プロジェクト・編集会議】令和元年11月15日（金）午後1時～午後2時半 J A I F A本部会議室

議 事 1. 令和元年度事業進捗について 2. 令和2年度事業計画(案)について 3. その他

1. 教育事業プロジェクト 2. その他

編集会議 午後2時半～午後4時

議 題 1. 令和2年度広報誌『Present』制作について 2. その他

企画広報委員会 企画部会

第1回 令和元年12月 6日（金）午前11時～午後6時 J A I F A本部会議室

議 事 1. 2020 J A I F A年次大会について 2. その他

第2回 令和2年 2月 7日（金）午前11時～午後2時 明治安田生命静岡支社会議室

議 事 1. 2020 J A I F A年次大会実行委員会及び決起大会について 2. その他

第3回 令和2年 3月10日（火）午前11時～午後6時 J A I F A本部会議室

議 事 1. 2020 J A I F A年次大会について 2. その他

【2020 J A I F A年次大会実行委員会】

第1回 令和元年 7月25日（木）午後3時～午後7時 メットライフ生命 静岡A/O 会議室

議 事 1. 2019 J A I F A年次大会報告 2. 2020 J A I F A年次大会について
3. その他

第2回 令和元年11月 6日（水）午後2時～午後6時 明治安田生命静岡支社会議室

議 事 1. 2020年 J A I F A年次大会について 2. その他

第3回 令和 2年 2月 7日（金）午後2時～午後6時 明治安田生命静岡支社会議室

議 事 1. 年次大会会場「グランシップ」・ディナーパーティー「ホテルセンチュリー静岡」
2. 2020 J A I F A年次大会について 3. その他

企画広報委員会 広報部会

第1回 令和元 年 9月 5日（木）午後3時半～午後5時半 J A I F A本部会議室

議 事 1. 令和元年度事業推進状況について 2. 令和2年度事業計画案について 3.
その他

第2回 令和元 年 11月14日（木）午後2時30分～午後5時30分 J A I F A本部会議室

議 事 1. 令和元年度事業推進状況について 2. 令和2年度事業計画案について 3.
J A I F A紹介パンフレット編集内容について 4. その他 5. J A I F A紹介
パンフレット編集会議 6. その他

社会奉仕委員会

第1回 令和元年 8月 8日（木）午後2時～午後4時半 J A I F A本部会議室

議 事 1. 令和元年度事業進捗と方針の検討について 2. 令和2年度事業計画（骨子）
について 3. 社会貢献顕彰について 4. その他

第2回 令和元年12月10日（火）午後12時半～午後3時 J A I F A本部会議室

議 事 1. 令和元年度事業進捗について 2. 令和2年度事業計画（案）について

3. 社会貢献顕彰の選定について 4. その他

組織強化委員会 組織部会

第1回 令和元年 9月 5日(木) 午後1時～午後3時 J A I F A本部会議室

- 議 事 1. 令和元年度事業推進と進捗状況について・会員増強について ・全社本社控除移行について・各社事務ご担当者説明会について 2. 令和2年度事業計画(骨子)について
3. その他

③全国会長会議

第1回 令和元年10月25日(金) 午後3時半～午後6時

全国会長会議、J A I F Aフォーラム 午後7時～午後9時 ナイトミーティング

- 議 事 1. 本部重要事項報告 ①委員会の進捗と令和2年度事業計画骨子
教育委員会、企画広報委員会 企画部会・広報部会、社会奉仕委員会、組織強化委員会 組織部会・財務部会・金融業界調査部会・総務部会 ②ハートフルファンデーションについて ③J A I F Aの組織の現況等について

令和元年10月26日(土) 午前9時～午後12時 全国会長会議、ブロック会議 メットライフ生命 6階 大会議室

1. J A I F Aフォーラム報告 8グループからの代表 2. ブロック会議、北海道ブロック、東北ブロック、関東甲信越ブロック、首都圏ブロック、東海北陸ブロック、近畿ブロック、中国ブロック、四国ブロック、九州ブロック 3. ブロック会議報告

④ブロック長会議

第1回 令和元年10月25日(金) 午後1時～午後3時 J A I F A本部事務局 会議室

- 議 題 1. 会員増強「DAMONDE J A I F A 40,000名キャンペーン」について 2. 2020年静岡年次大会動員について 3. その他

第2回 令和2年 1月22日(水) 午後1時～午後3時半 KKR ホテル東京 梅の間

- 議 題 1. 組織強化について ①会員増強について、各協会の今年度末目標会員数を把握し、今後の見込みと対策を検討。 ②2020 J A I F A年次統一セミナー(静岡)の動員について 2. ブロック事業活動について 3. その他

⑤ブロック会議

<北海道ブロック>

令和元年10月11日(金) ホテルグランドニュー王子(会計長会議を含む)

令和元年10月26日(土) メットライフ生命6階会議室

<東北ブロック>

令和元年10月26日(土) メットライフ生命6階会議室

令和元年12月 4日(水) TKPガーデンシティ仙台駅北ANEX

<関東甲信越ブロック>

令和元年 7月19日(金) 明治安田生命つくば支社2階(会計長会議を含む)

令和元年12月13日（金）高崎ワシントンホテルプラザ11階 菊の間

<首都圏ブロック>

令和元年 6月20日（木）東京協会会議室

令和元年 8月 8日（木）東京協会会議室

令和元年10月26日（土）メットライフ生命6階会議室

令和元年11月22日（金）東京協会会議室

<東海北陸ブロック>

令和元年10月19日（土）インテックビルタワー2階会議室・研修室（会計長会議を含む）

令和元年10月26日（土）メットライフ生命6階会議室

<近畿ブロック>

令和元年10月26日（土）メットライフ生命6階会議室

<中国ブロック>

令和元年10月26日（土）メットライフ生命6階会議室

<四国ブロック>

令和元年10月10日（木）鳴門文化会館

令和元年10月26日（土）メットライフ生命6階会議室

令和2年 3月23日（月）ホテルリブマックス伊予三島

<九州ブロック>

令和元年10月26日（土）メットライフ生命6階会議室

令和2年 2月 4日（火）西鉄イン福岡会議室（会計長会議を含む）

※令和元年10月26日（土）のブロック会議は、全国会長会議と同時に、全9ブロックが一堂に会して一斉に開催された。

■業務執行体制等

規程順守、個人情報をはじめコンプライアンス体制の強化、また反社会的勢力に対する対応方針など、理事会の場を活用し、役員並びに職員に対しても説明をしたうえで、体制の強化にあたっている。

令和元年度は、「規程順守」「雇用実態」の各項目での内部監査を実施した。

- 内部監査
- 1 地方協会の規程順守調査
 - 2 地方協会の雇用実態調査
 - 3 地方協会の内部監査

■職員の状況

本部事務局の業務にあたる令和元年度末の専従職員数は、事務局長以下6名である。

■節電の実施

政府の電力需給に関する検討会合及びエネルギー・環境会議合同会合において毎夏・毎冬とも「電力需給対策について」の決定に基づいた節電対策の要請を受け、電力需給対策・徹底した節電に取り組んだ。

■福利厚生

公益社団法人移行後は、一般法人法の適用により、役員の賠償責任のリスクが発生することから、公益財団法人公益法人協会が斡旋する「役員賠償責任保険団体制度」に加入している。この保険は、法人役員が、社員代表訴訟、法人訴訟（いずれも社団法人のみ）、第三者訴訟（社団法人、財団法人共通）により損害賠償請求を提起された場合、法律上の損害賠償責任・訴訟費用を負担することによって被る損害をカバーするものとなっている。